

2013年10月15日(火)より開始!

インフルエンザ予防接種は早くうけましょう!

★ワクチンの効果は接種後2週間で現れ、5ヶ月間有効です。

遅くとも、12月中には必ず済ませましょう。

★予約なしで接種できます。

★卵アレルギーのある方は接種できないことがありますので

事前に主治医にご相談ください。

○印が小児科外来でインフルエンザワクチン接種できる時間です。
水曜日はインフルエンザワクチン接種ありません。

	月	火	水	木	金	土
受付時間	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45	8:30~ 11:45
午前	○	○	/	○	○	○
受付時間	13:45~ 15:00	13:45~ 15:00	/	13:45~ 15:00	13:45~ 15:00	/
午後	○	○	/	○ ※注	○	/
受付時間	15:00~ 18:00	15:00~ 18:00	16:00~ 18:00	15:00~ 18:00	15:00~ 18:00	/
夕方	○	○	/	○	○	/

※注 木曜日午後の受付はこのカレンダーの太字部分のみです。ご注意ください。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

インフルエンザは、毎年冬には必ず流行する呼吸器感染症で、 普通の風邪とはまったく違う病気です！

インフルエンザで肺炎、気管支炎、熱性けいれん、中耳炎などを起こす方や中には脳炎、脳症、ライ症候群、顔面神経麻痺などになる方もいます。もちろんワクチン接種を受けていても、インフルエンザに100%かからないとは言えません。しかし、ワクチンを受けることにより軽症で済むことがあります。

ワクチンの副反応はほとんどありません。特に喘息や心臓病・糖尿病などを持っている方こそ、インフルエンザになると重症になりますので、ワクチンを受けて下さい。

また中学・高校・大学受験シーズンとインフルエンザの流行は重なりますので、あらかじめインフルエンザワクチンを受けておくことをお勧めします。生後6ヶ月以上の乳児、妊婦、授乳中の方も接種できます。

インフルエンザは流行するウイルスの型が変わるため、毎年ワクチンを受ける必要があります。

今年度のワクチンは、A パンデミック型・A 香港型・B 型のウイルスに対応した3価ワクチン（国産）です。

- ☆ 12月には接種を終了されることをお勧めします
- ☆ 13歳未満の方は2回、13歳以上の方は1回（または2回）接種が原則です。2回接種の時は4週間隔が最適です。
- ☆ 卵アレルギーがなければ、生後6ヶ月から接種可能です。

対象	旧基準	新基準
小中学校、 高校、大学	解熱後 2日間	<u>発症後5日経過し、 かつ解熱後2日間</u>
幼稚園 保育園	解熱後 2日間	<u>発症後5日経過し、 かつ解熱後3日間</u>

[学校保健安全法 2012年4月1日改正施行]

	料金（税込）
組合員の方	2,620 円
一般の方	3,150 円

♪接種時には母子手帳を忘れずに♪